

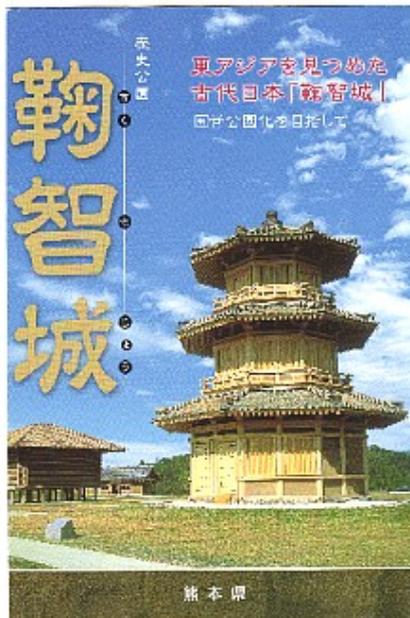
第168会例会 阿蘇・肥後・吉野ヶ里 の旅



2011.8.4 ~8.6

阿蘇・白雲山荘
黒川温泉・三愛高原ホテル

参加者 乾治子、井上筑前、
河内陸也、河原孝二、錦織昌一
西本恆俊、橋爪寛次、服部三男



肥後に根付いた装飾古墳の数々
邪馬台国を彷彿とさせる吉野ヶ里
雄大な阿蘇をバックに歴史の旅



● スケジュール概略

- 8月4日 JR新大阪 — 博多 — 熊本 — 熊本城 — 阿蘇山周辺 — 白雲山荘
(河原さんは、羽田空港 — 熊本空港 — 熊本駅：熊本駅で合流します。)
- 8月5日 白雲山荘 — 山鹿・菊地地方の古墳・博物館めぐり — 黒川温泉・三愛高原
- 8月6日 三愛高ホテル — 大分自動車道 — 鳥栖I.C. — 吉野ヶ里 — 博多駅
(博多駅解散 : 河原さんは、地下鉄10分で福岡空港へ。時間あれば車で
空港へ。乾さんは帰り、吉野ヶ里から単独で長崎へ)

1. 参加者

第168回例会 参加者

(2011.8.4-6)

乾治子		吹田市		
井上修一		吹田市		
河内陸也		池田市		
河原孝二		埼玉県戸田市		
錦織昌一		奈良県生駒郡		
西本恒俊		高槻市		
橋爪寛次		奈良市		
服部三男		枚方市		

2. 会費

- ・ 河原さん . . . 30,000円 (往復ANA費用は、別途個人負担)
- ・ 乾さん . . . 70,000円 (往路のJR新幹線は個人負担)
- ・ 残りの参加者 . . . 70,000円

2011年夏 168回例会 井上 橋爪 河内 乾 服部 河原 西本 錦織 合計

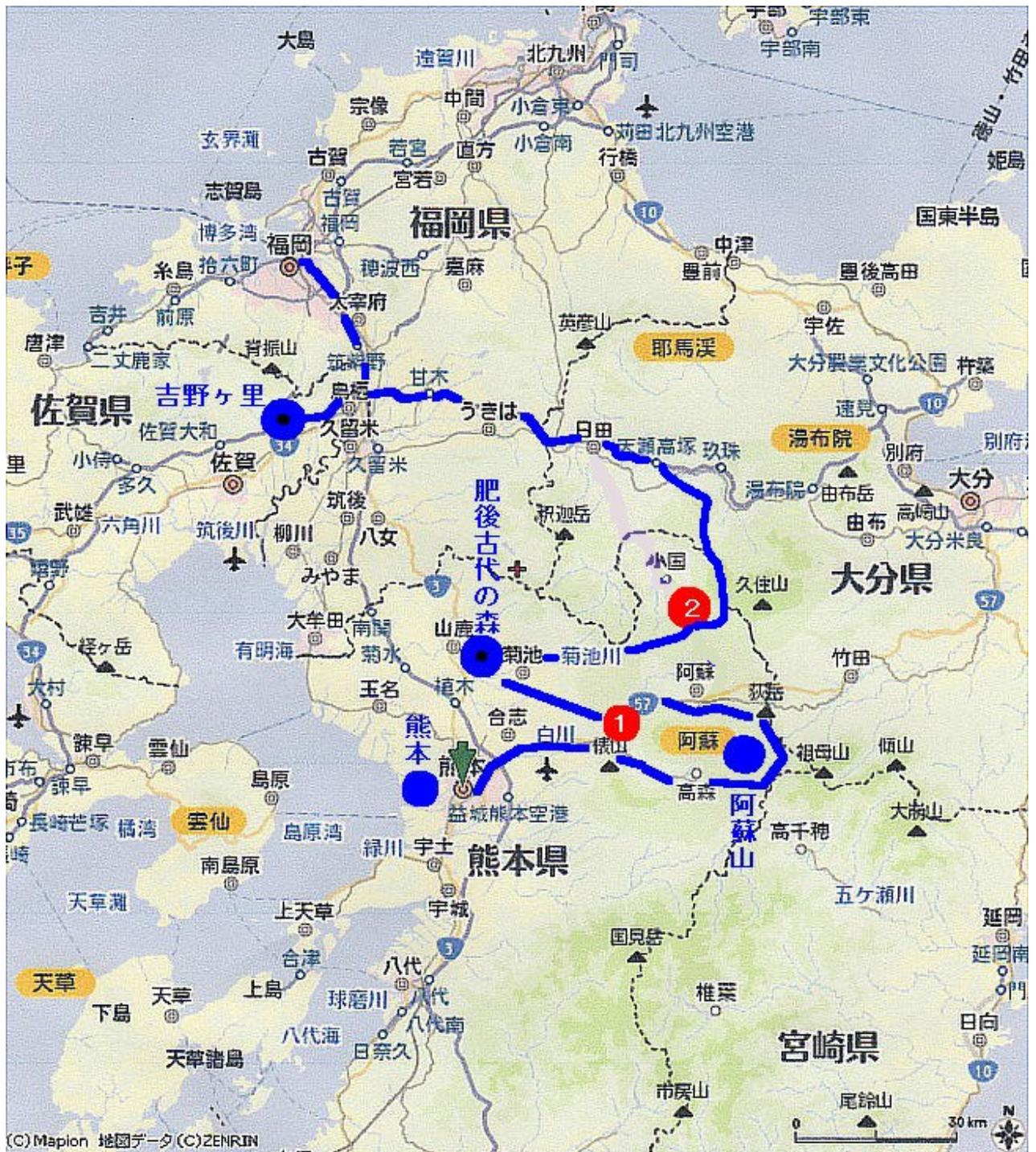
会費		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	30,000	70,000	70,000	520,000
費用支払	1 .ぐるっと九州 JRセット一泊 (往復新幹線+阿蘇白雲山荘)	40,300	40,300	40,300	0	40,300	0	40,300	40,300	241,800
(河原さんの、	2 .同上阿蘇白雲山荘一泊)				9,200		9,200			18,400
東京-熊本、	3 .往路 JR 新幹線1席追加(乾)				18,520					18,520
福岡-熊本運	4 エース JTB 宿泊一泊(黒川温泉)	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	86,400
賃は本人が支	5 レンタカー(WA)3日間 29,700	3,713	3,713	3,713	3,713	3,713	3,713	3,713	3,713	29,704
払い済み)	ココまでの各人別費用合計	54,813	54,813	54,813	42,233	54,813	23,713	54,813	54,813	394,824
	会費残高	15,187	15,187	15,187	27,767	15,187	6,287	15,187	15,187	125,176

上記会費残高は、旅行社に支払った(太字)後の残高です。従って、残り旅行中の費用は、全てここから支払い、全て清算の上、過不足は個人別に徴集または、払い戻し致します。費用としては、後、高速代・ガソリン代、酒代等々です。一人6,7千円くらいの負担では無いかと思います。(大阪組は何とか@1万円余るように・・・。)

3. 連絡先

- ・ 旅行社 . . . 日本旅行オーエムシー 吹田店 担当:尾林 06-6317-4111
- ・ 阿蘇白雲山荘 〒869-2233 熊本県阿蘇市赤水温泉 TEL 0967-35-0111
- ・ 三愛高原ホテル 〒869-2493 熊本県阿蘇郡南小国町満願寺 5644 0967-44-0121

【行程概略地図】



見どころ（九州初めての方へ便宜を図って。）

1. 阿蘇山（とにかく雄大です。その雄大さを感じて下さい。山なみハイウェイも爽やか）
2. 肥後の遺跡（邪馬台国時代の狗奴国の有り様を学びます。古墳時代も圧巻。）
3. 吉野ヶ里（弥生時代の九州の代表的な遺跡。その先進ぶりに驚きます。）

第一日目

- ・大阪組 **AM7:30 新大阪駅集合（時間厳守）** 7:50 発 -みずほ 6C3- 熊本駅 10:50 着。
- ・河原さん **ANA641 羽田 8:10 発**—熊本空港 10:00 着—（バス約 50 分）—熊本駅着

1. 熊本市内

- 1 熊本城 加藤清正が築いた名城。西郷隆盛が西南戦争で負けた時「儂は官軍に負けたのではない、清正公に負けたのだ。」と言ったのは有名な話です。
- 2 熊本市立博物館 熊本城天守閣は熊本市立熊本博物館の分館でもあります。
- 3 夏目漱石記念館 夏目漱石の五高諭時代の住まい。漱石の遺品を展示しています。
- 4 水前寺成趣園 水前寺公園の大名庭園。東海道五十三次の景勝を模した所。
（このあたりは飛ばして、早めに阿蘇の山麓を観光する手もあります。）

2. 阿蘇山・阿蘇山麓

阿蘇山の麓はじつに雄大です。カルデラ湖が埋まって出来たところに人々が住み着き、阿蘇町を筆頭に、今では人口数万の町が幾つかあります。阿蘇高原でのんびりするのも一興・

3. 阿蘇白雲山荘

〒869-2233 熊本県阿蘇市赤水温泉 TEL 0967-35-0111 / FAX 0967-35-1154



- 福岡から 九州自動車道経由 - 2時間
- 別府から やまなみハイウェイ経由 - 2時間
- 熊本から 大津の杉並木道を通して - 50分

雄大な阿蘇の山並が一望できるホテルです。泉質が異なる二つの温泉・大浴場と露天風呂で静かなひとときをお過ごし下さい。

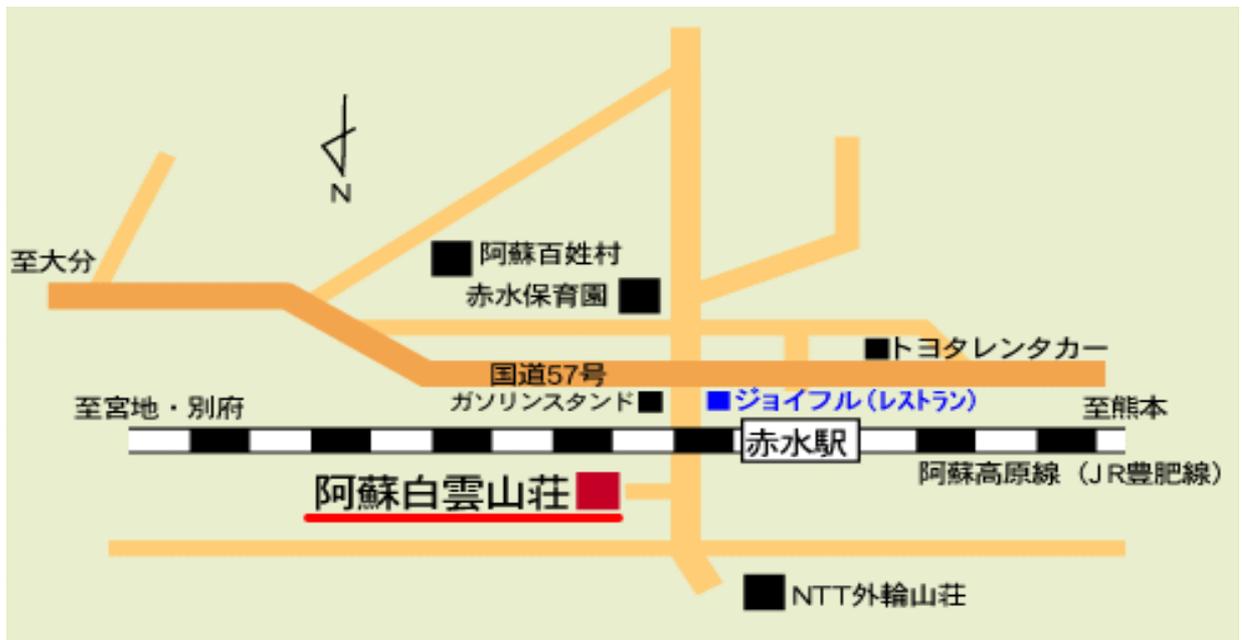


☆大浴場・露天風呂 平成 21 年 3 月 20 日に装いも新たにリニューアルオープン致しました。当館のチェックイン時間は 15 : 00、チェックアウト時間は翌朝 10 : 00 となっております。お風呂は露天・内湯共に 15 : 00~24 : 00/6 : 00~10 : 00 となっております。年間を通じてのリゾート保養地・阿蘇にあって、当ホテルは久住方面へも足をのばせる便利な位置にあります。ご旅行・トレッキングの際は、どうぞ御気軽にご利用くださいませ。



初夏になると草原には放牧された牛馬が見られます。阿蘇の高原に牧歌的な、のどかな風景が広がります。また夏には多くの山草を観察することができます。初夏のハナショウブ、紫球形のヒゴダイ、黄色い花をゆらすユウスゲ・・・等が見られます。

屈指のアウトドアリゾートに位置する阿蘇。その自然の雄大さを満喫できる季節です。



第二日目

1. 肥後古代の森（菊池）

- 1 鞠智城公園 二年前復元された古代山城公園です。鞠智城は、日本書紀に記述あり。**鞠智城**（くくちじょう）は、古代山城（朝鮮式山城）の一つ。熊本県のサイトでは、きくちと振り仮名が振られている。熊本県山鹿市から菊池市にかけて所在する。菊池市隈府にあった菊池氏の居城「菊池城（菊池本城）」とは別の城である。
文武天皇時代の修築記事ではじめてその名が正史に登場するが、築城年は記載がなく現在も確定されていない。しかし、7世紀後半、倭軍が朝鮮半島の白村江で唐・新羅合軍に敗れて、その来寇に備える軍事拠点と位置づけられて築城されたものであろう。古代史の資料「六国史」の記述や百済系瓦の出土例などから、鞠智城は百済亡命貴族の指導で築城されたと考えられており、遺跡からは百済貴族が持ち込んだと推定される青銅製の菩薩立像も出土している。



お問い合わせ



熊本県立装飾古墳館分館 歴史公園鞠智城・温故創生館
〒861-0425 熊本県山鹿市菊池町米蔵443-1
TEL.0968-48-3178 FAX.0968-48-3697
<http://www.kofunkan.pref.kumamoto.jp/kikuchijo/>

2. 肥後古代の森（山鹿）

1 チブサン・オブサン古墳（装飾古墳）

チブサン古墳は墳丘長44メートルの前方後円墳で、複室の横穴式石室をもち、後の石棺に描かれた壁画がつとに有名であり、古く大正11年に国の史跡に指定されている。

オブサン古墳は、チブサン古墳の近傍にある円墳である。熊本県の「風土記の丘」 想をもとに、典型的で雄大な横穴式石室として公開できるよう整備を進めることとし、昭和59・60年に熊本県教育委員会が発掘調査を実施した。発掘調査の結果、直径22メートルで幅4メートル前後の周溝がめぐることが判明した。葺石や埴輪は認められない。石室開口部にはハの字にやや開く前庭部を設けているが、墳丘内側だけでおさめるのではなく、円形の墳丘から2つの矩形の突出部を張り出させることにより、間口4.5メートルで羨門まで奥行8メートルの前庭部を確保している。南に開く横穴式石室は複室構造で、奥室には石材は残っていないが石屋形があったことが判明した。石室の全長は、羨門から奥壁までで約8.5メートル、前庭部の8メートルを加えると16.5メートルとなる。奥室屍床を画する仕切り石に赤彩の連続三角文が、奥壁にもかろうじて赤彩の小型の靱もしくは盾が認められたが、痕跡程度になり肉眼では判読できない。本来は奥室には装飾豊かな壁画が描かれていた可能性が高い。鉄地金銅張りの馬具等が出土している。

オブサン古墳は6世紀中ごろのチブサン古墳に後続する首長墓で、6世紀後半に築造され7世紀前半まで追葬がなされている。円丘から突出する張出し部をもつ特異な構造、前庭部列石を含めた全長16.5メートルの石室規模、貴重な壁画装飾をもつことから、チブサン古墳とともに、熊本県を代表する古墳のひとつといえる。よってオブサン古墳を追加指定し、「チブサン・オブサン古墳」として両者あわせて保存を図ろうとするものである。なお、江戸時代以来、チブサン古墳の壁画画像からくる「乳房信仰」とともに、オブサン（うぶさん＝産さん）古墳は「お産」の神様として信仰の対象となり、両者は一体として意識されてきたものである。

2 山鹿市立博物館

山鹿市立博物館は、昭和53年4月1日、県内で2番目に開館した博物館。建物は鉄筋コンクリート2階建て、延べ面積681平方メートルの小さな博物館で、山鹿市を中心とした菊池川流域の考古資料のほか、歴史資料や民俗資料を展示している。

全国に唯一の石包丁形鉄器や、30数例しかない巴形銅器など大変貴重な資料がみどころ。博物館周辺は歴史公園「肥後古代の森」として整備されていて、装飾古墳として有名な史跡チブサン・オブサン古墳まで徒歩15分の「古代への道」が続いている。そのほか江戸時代の民家や全国第二位の用水橋（石橋）である大坪橋が移設復原されて、文化財あふれる空間となっている。

主な展示資料

〔旧石器〕 尖頭器（市指定）、ナイフ形石器

〔縄文〕 縄文土器、土偶、骨角器

〔弥生〕丹塗土器・冢形土器・巴形銅器・青銅鏡・石包丁形鉄器（県指定）、中広銅矛（市指定）

〔古墳〕鏡、勾玉、馬形埴輪、人物形埴輪、鳥形埴輪

〔古代〕中村廃寺瓦、墨書土器、凡導寺経筒（県指定）

〔中世〕輸入陶磁器、瓦質土器

〔江戸〕湯町絵図（市指定）、古事記伝写本（県指定）

〔明治〕西南の役山鹿口の戦い錦絵

3 方保田東原遺跡（かとうだひがしばるいせき: 弥生時代製鉄遺跡）

方保田東原遺跡は、熊本県の北部、菊池川中流域の標高35mの台地上に所在する、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての集落跡である。昭和55年に起こった宅地造成計画に伴い、山鹿市教育委員会が確認調査を実施したところ、少なくとも東西330m、南北300mに及ぶ環濠集落跡であることが判明した。出土遺物としては多数の土器のほか、鉄鎌・刀子・手鎌・鉄斧などの鉄製品、巴形銅器・銅鎌・小型仿製鏡などの銅製品がある。弥生時代から古墳時代にかけての社会を知る上で重要であることから、史跡に指定された。

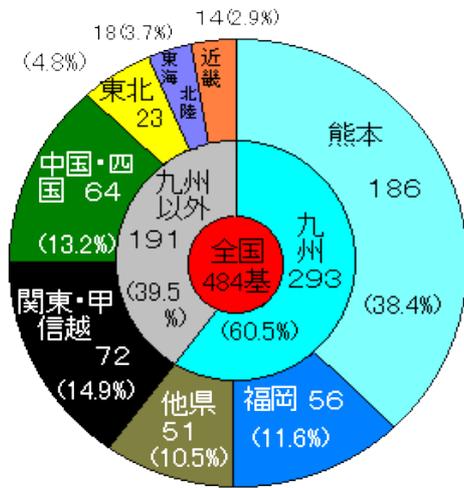
3. 肥後古代の森（鹿央）

1 岩原古墳群

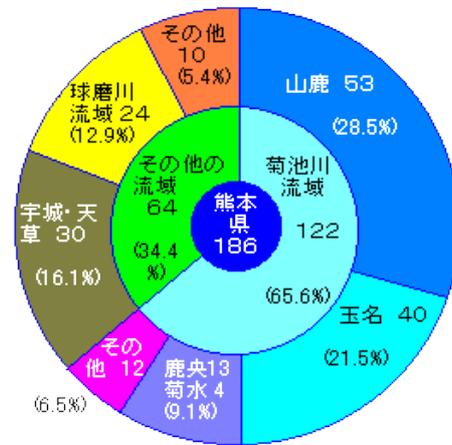
県立装飾古墳館に隣接する国指定史跡の岩原古墳群。前方後円墳の岩原双子塚古墳と十数基の円墳からなる古墳群。中心となる岩原双子塚古墳は、墳長（全長）約107mで美しい姿は、当時を偲ばせる。岩原古墳群から遊歩道を下った所にある岩原横穴群。阿蘇溶結凝灰岩の岩壁に掘られた横穴群は、100基以上あります。中を見ることもでき、間近に横穴群を感じる事ができる。

2 熊本県立装飾古墳館

中国で、古墳に壁画や装飾が現れるのは、後漢の時代からである。それが朝鮮半島北部の高句麗に伝わり、4～5世紀には最盛期を迎える。日本の古墳に装飾や彫刻が現れるのは5世紀からである。最初は九州中西部の有明海東岸に現れ、その後瀬戸内海、近畿、関東、東北に広がるのが7世紀頃と考えられている。全国装飾古墳の約60%が九州に現存し、その約3分の2が熊本県にある。装飾古墳の分布の北限は、宮城県の川北横穴墓群等で、これより北では発見されていない。また関東・東北で装飾を持つ墳墓は、殆どが横穴墓である。



全国装飾古墳分布状況 平成4年3月末



熊本県内・装飾古墳の地域別分布

4. 肥後古代の森（菊水）

1 江田船山古墳

江田船山古墳は、5世紀後半の築造と考えられる全長61mの前方後円墳である。発掘された家形石棺から金銅製冠帽、純金製耳飾り、金銅製靴など200点あまりの副葬品が出土したが、一番の目玉は「銀象嵌の太刀」である。発掘当時は日本最古の文字と騒がれた副葬品・装飾品の多くは大陸文化の影を色濃く残しており、この古墳は、おそらく富裕な渡来人達の支配者が葬られた墓であろうと思われる。

古墳の廻り一帯は、菊水町により「肥後民家村」として歴史公園となっている。各地からの民家を移築したり、民俗遺構を移転したりして一大古代村が出現している。

2 肥後民家村

古墳時代の製鉄遺跡、江戸時代民家などを展示。

5. 池溪谷を通過して「大観望」経由、黒川温泉 三愛高原ホテルへ。

6. 三愛高原ホテル（さんあいこうげんほてる）

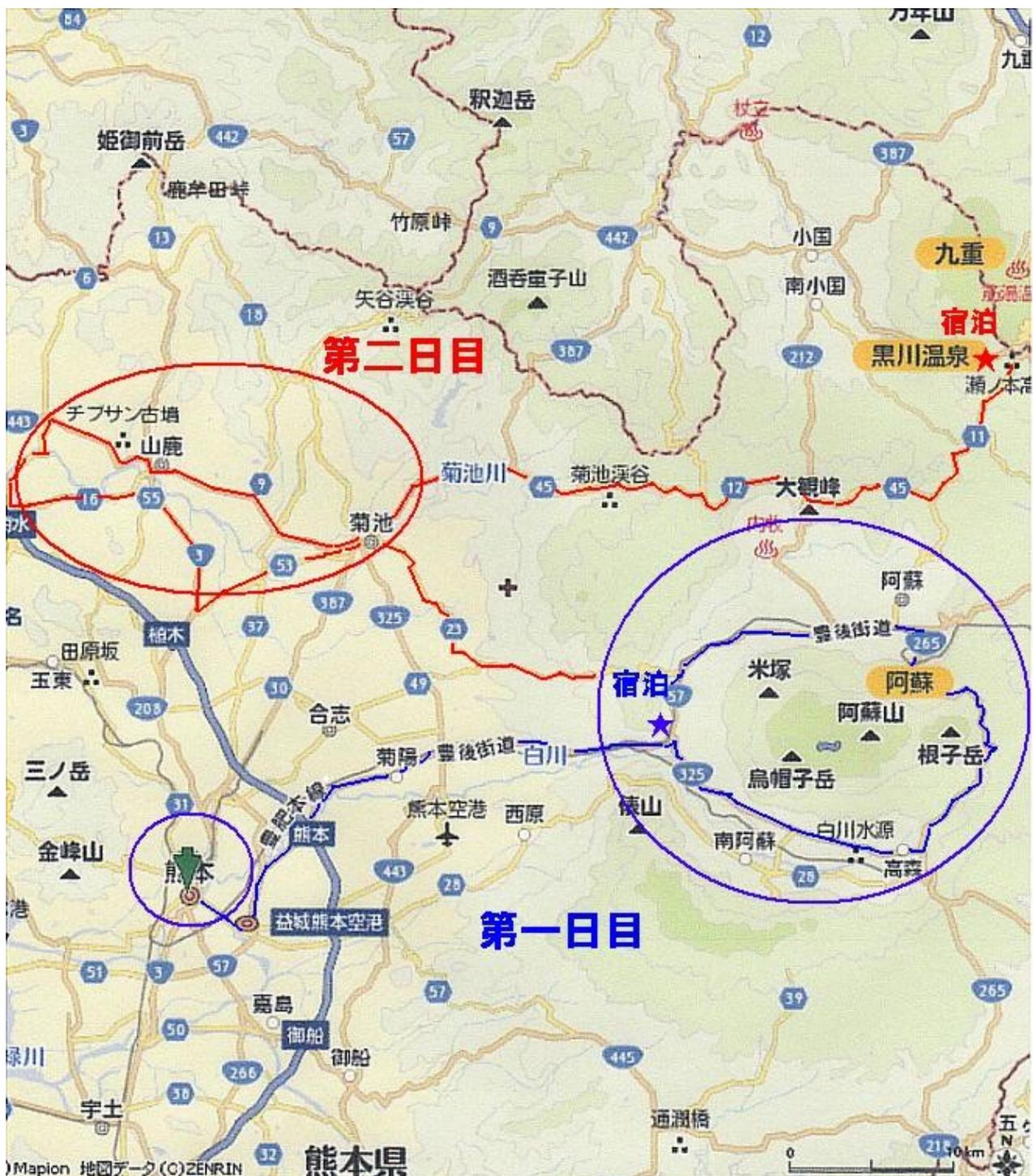


阿蘇五岳が一望出来る高原の中に立置しており、四季折々の自然が満喫出来ます。温泉も展望大浴場と露天風呂“絶景の湯”、家族風呂と楽しめます。三愛高原ホテルは、1967年に設立されました。敷地面積は、なんと5万坪。

当ホテルは、「株式会社 一粒社ヴォーリズ建築事務所」により建築・設計されており、大変歴史ある建物です。瀬の本高原の景観を壊さないようにするために、あえて目立たないよう建てられています。お越しになる場合、若干おわかりにくいかと思いますので、お電話いただければお迎えに参ります。ご遠慮なくお電話くださいませ。

また、当ホテルからは、瀬の本高原・阿蘇五岳が一望でき、大自然を満喫していただけます。阿蘇瀬の本高原の大草原の中で感じる爽やかな風。大自然のふところに抱かれて、ゆっくりと流れる静かな時間をご満喫ください。当ホテル敷地内に、3箇所水が湧き出ている場所があります。福岡・筑後平野へ流れ出る**筑後川の源流**。そこが“瀬の本”です。



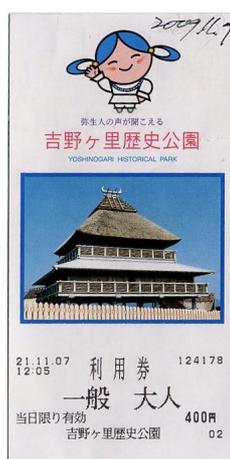


<注意事項>

- ・ おそらく、めちゃ暑いと思われるので、各自暑さ対策はしっかりしてきて下さい。水分も絶えず補給できるように準備してきて下さい。
- ・ しかしながら、荷物は極力、少なめ少なめが肝要です。

第三日目

- 1 やまなみハイウェイ・・・高原の中を、阿蘇・久重山系を眺めながらドライブ。
天ヶ瀬I.C.から九州横断道路行き、鳥栖インターで降りて吉野ヶ里遺跡へ。
2. 吉野ヶ里遺跡・・・佐賀県神埼郡吉野ヶ里町と神崎市にまたがる吉野ヶ里丘陵に、およそ50ヘクタールにわたって遺構が残る、弥生時代の大規模な環濠集落遺跡である。昭和61年からの発掘調査によって発見され、現在は国営吉野ヶ里公園として一部を国が管理する公園となっている。物見やぐらや二重の環濠など防御的な性格が強く日本の城郭の始まりとも言えるもの。紀元前4世紀頃には、吉野ヶ里丘陵の中に集落が形成され始め、これが大規模な集落へと発展することになる。前期には、吉野ヶ里丘陵のところどころに分散して「ムラ」ができ始める。また、南のほうの集落に環濠が出現する。中期には、吉野ヶ里の丘陵地帯を一周する環濠が出現する。集落が発展していくとともに、防御が厳重になっている。また墳丘墓や甕棺が多く見られるようになる。大きな墳丘墓になると南北約46メートル、東西約27メートルの長方形に近い墳丘で、高さは4.5メートル以上あったと推定されている。頂上から墓壙を掘って14基以上の甕棺を埋葬しているものもあり、本州の他の地域でも見当たらない。後期には、環濠がさらに拡大し、二重になるとともに、建物が巨大化し、3世紀ごろには集落は最盛期を迎える。北内郭と南内郭の2つの内郭ができ、文化の発展が見られる。海岸線は次第に遠ざかり、この時代には神埼郡千代田町や佐賀市諸富町付近にあった。筑後川の河口もまたその付近に移ったと推定され、遺構からは港のようなものがあつたと推定されている。



3. 長崎・博多駅・福岡空港へ
 - ・ 大阪組 熊本駅 17:30 発 一のぞみ 058 新大阪 19:58 着
 - ・ 河原さん JAL 325 便 福岡空港 17:30 発 19:10 羽田着
 - ・ お疲れ様でした。皆様それぞれ、お帰りも気を付けて。